

☆石山教室 堀井さん（91期）からのご報告☆

留香茶友会のみなさま

先日お知らせしました「清水焼作家さんと中国茶のコラボ」で使用する茶杯の絵付けに行ってきました。参加者：恵島さん、赤木さん、石川さんと堀井の4名。

まずは、コラボの会場となる「遊空間 Roji」を下見に。

昔は日本画の巨匠「横山大観」の定宿として知られる趣のある旅館を改装した建物で、高瀬川と禊川に挟まれ、奥の庭からは鴨川の向こうに大文字山も見える好立地。

川岸の桜は、今年は例年より早めの開花予想で、コラボの会期中にばっちり合いそうな気配。なかなかの景色にうっとりしながら、デモンストレーションの配置など段取り。

お昼は近くの京料理屋さんで、リッチに松花堂弁当をいただく。Roji と同じような立地に建ビルの中の一軒。ぽかぽか春の陽気の川沿いの景色を見ながら、楽しいひととき。

午後からは、本日メインの目的地、山科区清水団地にある作家さんの工房へ向かう。

通された作業場には、素焼きの茶杯が50個並ぶ。

「今日は、これを全部絵付けして帰ってね！」と・・・

筆と呉須の絵の具、練習用の陶板を渡され、濃淡の出し方など、ちょこっとアドバイスを受ける。「さあ、練習したらどんどん描いてね。」「はあ・・・」



恵島さんは、書に最近力を入れておられるので、筆遣いも軽やか！

赤木さん、石川さんも「子供のお絵かきみたい」と言いつつ、素敵なお絵柄を入れていかれる。

私は、見本に持参した”水紋柄の蓋碗”を参考にしつつ、曲線と字を描いてみた。「こんなんでもいいのお??？」と思いながらも、大胆に筆を進めた。

焼き上がりが楽しみなような、怖いような。

でも、もうこの茶杯たちをコラボで使うしかない。

そして、この茶杯たちは、会期中に来ていただいた皆さんへの”お土産”ともなる。



出来上がりをご覧になりたい皆様は、是非会場へ足をお運びください。

詳しい、コラボの案内は追ってお知らせします。

91期 堀井美香